

# たこ天村新聞

第2号

2024.6.26

[制作]  
PAS心理  
教育研究所

## たこ天2024 村民募集中!

参加申込は7月20日(土)まで

2024年のたこ天の参加申込がスタートした。8月16日(金)から18日(日)の2泊3日で開催される今年の「たこ天」は、下は高校生から上は年齢制限なく、40名の村民(参加者)を募集する。たこ天村パンフレットは、PASウェブサイト(<https://www.pas-ins.com>) またはたこ天ウェブサイト(<http://takoten.pas-ins.com>)に掲載中。

申込開始から2週間が経過した6月25日午後2時現在、たこ天村役場関係者によると、20代男女数名の申込があった模様。また「数年ぶりに今年はたこ天に参加したいのでパンフレット送って欲しい」「こういった自分のテーマで参加したいがどの小グループが適切か」「今年の会場に〇〇はありますか」といった問い合わせも数件、村役場に寄せられている。「今年は例年以上に反応が来ている。小グループは原則先着順に席が埋まるので、参加を決めている人は早めの申込を」と村役場企画課長は呼びかけている。

## コミュニティを作る

たこ天村は、3日間、集まった村民全員でみんなの「たこ天村」を作るというコンセプトで毎年行われている。その点、用意されたアトラクションをただ楽しむような遊園地やテーマパークではない。「たこ天村」といっても、今年の村の実体はまだ存在していない。今、村にあるのは、会場とセラピストの outlet と、倉庫にあるちょっとした小道具だけ。これから皆で一から作る。

たこ天村は、物やシステムありきではない、人と人とで作るコミュニティである。この新聞も、村役場の企画課長という人が、自分が楽しく村づくりに貢献できることはなんだ? と思い、まずは人集めだ、じゃあこれだ! と遊び始めたことから始まった。どんなことでも自分ができることからリーダーシップは始まる。

たこ天村役場は、村づくりのリーダーシップを取る村民を募集し、登録を開始した。6月26日、寒海村長からコミュニティづくりの呼びかけが発信された。詳細はたこ天ウェブサイトに掲載中。

## たこ天の歴史

『たこ天村物語』君はもう読んだだろうか? 「note」という配信サイトで無料で読むことができる。たこ天とはなにか、どうやって誕生したのか、村を知ることのできる物語として読み応えがある。

たこ天村は人で作る村であるから、作る人の今と過去と未来が織り合わさる。物語では、たこ天村を始めた寒海村長の幼少期が前史として語られるが、そこにたこ天の原点がある。そして、今年のたこ天が動き出した。今年も村民ひとりひとりの今と過去と未来が織り合わさって村が作られる。ひとりひとりの生きる姿と出会えるのを楽しみにしている。(花井)

## 『たこ天物語』noteに連載中

### 記者大募集

たこ天村新聞では、たこ天前からのたこ天期間中まで、紙面づくりを一緒に行う記者を募集します。取材、文章作成、写真撮影、編集など各部門で活躍できます。ご希望の方は花井 まで ([pas@pas-ins.com](mailto:pas@pas-ins.com))。